

## — 住民監査請求内容の簡易版 —

6/11、大阪市在住の8人が、当会を代表して住民監査請求をしました。

### 何について監査を求めたの？

IR カジノ用地の「液状化対策工事(土地課題対策工事♥)」に関連する会計上の行為が大阪市に損害をもたらしていること。

「住民監査請求」とは？  
自治体(大阪市)の〇〇がした財務に関係する行為が、大阪市に損害をもたらしていると思うので、監査委員さん(4人)、調べてね➡請求書提出



### 主な点は次の2点だよ！

(1)大阪市港湾局長は、昨年12月4日から液状化工事を行っている IR 事業者に、無償で土地を貸している。昨年9月に結んだ「事業定期借地権契約」に基づいて賃貸していれば入っていた約2億円/月、現在までの合計約12億円(6か月分)の収入を得られず、市に損害を与えている。使用貸借(無料貸し)契約の解除を求める。

(2)液状化対策工事は、大阪市が費用を負担するが、IR 事業者と市との土地改良事業についての協定で「公共工事に準ずるもの」とあやふやな言葉でごまかし、一般競争入札をせずに工事価格が決定されている。そのため、不当に高い価格になっている可能性、中間搾取の可能性があり、市に損害を与えている。

また、大阪 IR(株)が工事の契約をしたのは IR(株)の株主である大林組と竹中工務店だ。株主どうしの契約であり、さらに疑念が深まる。土地改良事業についての協定の解除を求める。

### ♥ IR 用地の

#### 土地課題対策工事とは？

大阪市負担788億円をかけて IR カジノ用地を整備する。(昨年12月からスタート)  
工事内容は ①液状化対策 ②汚染土壌対策 ③地中埋設物除去 の3種類



### その他関連する次の行為の監査も求めたよ！

・IR カジノ用地の土地課題対策工事の費用 788 億円を、大阪市が負担するのは不当だ。

理由は、これまで大阪市は、土地を借りた者自らの負担で土地整備をやらせてきた。IR 業者への優遇ではないか。

・788 億円の算定根拠がないまま、大阪市は負担を決めたが IR 業者の言いなりで過剰な支出になっているのではないか。

・788億円は、港営事業会計からの支出で、国や銀行から借金(企業債)をする。法律で企業債は当該事業の施設の建設、改良などに限られているので、IR 用地の土地改良に使うのは法律違反ではないか。

## 住民監査請求のおおまかな流れ

